

美術工芸館 Newsletter

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

Tohoku Fukushi University
Serizawa Keisuke Art and Craft Museum

ニュースレター 2025 年 3 月 Vol.7

News

01

ＪＲ仙台駅に芹沢模様！

学園創立 150 周年記念デザインに採用されました

2025 年 1 月、ＪＲ仙台駅 2 階西口の看板広告が一新されました。もうご覧になりましたか？キャッチフレーズ「福祉の新時代、はじまる。」とともに、当館所蔵の芹沢銈介作品《福の字》（1962 年）が掲げられています。

漢字の「福」を意匠化した本作。藍地を白抜きした円の中には、福德に富む草書体の文字が収まり、一画ごとに朱・黄土・薄藍で染め分けられています。さらに吉祥模様である梅・竹が花冠のように取り囲むことで、喜びや豊かさが一層引き立つようデザインされています。

文字を主題とする芹沢作品は、型絵染の人間国宝に認定された 1956 年以降顕著に増えていき、「文字絵」と呼ばれる一つのジャンルを形成しました。芹沢銈介生誕 130 年と重なる今年は、国見・東口キャンパス双方で記念展を開催予定です。

どうぞご期待ください。

なお同様の記念デザイン看板は国見キャンパス、ステーションキャンパス、感性福祉研究所、仙台駅東口キャンパスでもご覧いただけます。



Report 01

所蔵品貸出 バルディビア土偶など 11 点

2024 年 12 月に、東北大学大学院文学研究科考古学研究室に土偶など 11 点を貸し出しました。今回の貸出は、展覧会のためではなく、土偶の内部構造を把握する調査を目的とした X 線 CT 測定に協力する、という内容のものでした。当館が所蔵する芹沢銑介コレクションには、中南米の古い土偶があります。特にエクアドルのバルディビア文化は約 4900 年前～2400 年前の時代で、写真は「バルディビアのヴィーナス」と呼称される高さ 6 センチほどの可愛い土偶です。その他、メキシコ・トラティルコの土偶やグアテマラの土偶などが調査の対象になりました。いずれ X 線分析結果をもとにした論文が学術誌に発表されることになるでしょう。お楽しみに。



BRUTUS



2025 年 1 月刊行の『BRUTUS』は「通いたくなるミュージアム」の特集号。当館は 500 館以上ある日本のミュージアムの中から“貴重な資料に出会える 知の殿堂 大学ミュージアム”のコーナーに掲載されています。

Topics 01

ミュージアムショップに**新商品**が登場！

芹沢銑介の美しい模様をあしらった当館オリジナル商品が完成しました。A4 ファイルが収まるトートバッグと、B5 版ノートやスマートフォン、財布などを入れて持ち歩けるサコッシュの 2 種。どちらもカジュアルなコットン地の仕様です。来館の際には、是非お手に取ってみてください。



左：トートバッグ
右：サコッシュ
各 2000 円



pen

“上質な日常はすぐそこにある”をコンセプトに、様々なカルチャー情報を紹介する雑誌『pen』。2 月号では民藝を特集し、芹沢銑介の仕事の魅力に迫っています。本号は、芹沢模様のオリジナルポストカード 4 種が付録になっています。

News 02

雑誌 掲載情報

旅行ガイドブックの定番『地球の歩き方』。福島・宮城・岩手・青森の“みちのく”を網羅した新刊が発売されました。みちのくにゆかりのある芸術家として芹沢銑介が取りあげられ、東北を題材とした作品や当館情報が掲載されています。

地球の歩き方 みちのく



Topics 02

所蔵品紹介 芹沢銈介作《鯛泳ぐ文着物》

大小の鯛が群れをなし、悠然と漂う様がみごとに意匠化された本作。芹沢の手にかかれば、布に染めた鯛でも、まるで大海原を泳ぐかのような躍動感が生まれます。1956年人間国宝に認定された芹沢。翌年から10数年にわたり鎌倉の津に仕事場を設け通いました。海辺の船や漁具、魚や貝をモチーフにした作品を制作するなかで、《鯛泳ぐ文》は斬新かつ格調高い代表作となりました。次の芹沢銈介生誕130年記念展でご覧いただけます。



News 03

次回展覧会のお知らせ

展示室で
お会いしましょう！



2025年は学園創立150周年、芹沢銈介生誕130年という記念の年です。前期は下記の展覧会を開催いたします。詳細は当館ホームページをご覧ください。

国見キャンパス

芹沢銈介生誕130年記念展「芹沢銈介 模様の道 一生涯の四季を歩むー」

開催期間：2025年4月21日（月）～7月18日（金）

仙台駅東口キャンパス

芹沢染紙研究所の仕事（仮称）

開催期間：2025年5月23日（金）～7月20日（日）